

ハンドボール一般

18で破り、コロナ禍で中止となった前回大会を除いて4連覇を果たした。同女子決勝は宜野湾ガスクラブがレキオクラブを29-19で下し、初の頂点に立った。男子決勝は、興南BICがHC FURIMUNを25-19で破り、コロナ禍で中止となった前回大会を除いて4連覇を果たした。同女子決勝は宜野湾ガスクラブがレキオクラブを29-19で下し、初の頂点に立った。男子決勝は、興南BICがHC FURIMUNを25-19で破り、コロナ禍で中止となった前回大会を除いて4連覇を果たした。

宜野湾ガス 悲願初V

宜野湾ガスクラブはエース當眞貴和子が13得点と躍動し、創部15年で初の1部優勝を飾った。実業団の大阪ラウィツで1年間プレーし、昨年沖繩に戻った當眞のスピードを生かした速攻がさえた。味方がボールを奪うと素早く前線へ抜け出し、ロングパスを受け取ってゴールを量産した。

攻撃に転じると、當眞は後ろを見ずにゴールに向かって走りだす。「正確なロングスローが私に出来る。味方を信じて走るだけ」と、得意の連携プレーに自信をのぞかせた。

後半は、2人の退場者を出して一時5人でプレーするなど厳しい時間が続いた。それでも主将の仲宗根由香利を中心に「しっかりと守ろう」と声を掛け合い、相手に主導権を渡さず。終盤、相手の足が止まると當眞と登川愛が速攻からシュートを決めて突き放した。

仲宗根主将は「1部に上がり、5年でようやく優勝できた。九州では若い子たちを生かし、上位を目指して戦う」と飛躍を誓った。(比嘉大照)

當眞13点 味方信じ走る



本県で行われる九州一般選手中権の出場権を得た。

男子	1部連決勝	興南BIC	25	1312	108	18	HC FURIMUN	27	20	那覇西ク
女子	1部連決勝	宜野湾ガス	29	1415	712	19	レキオクラブ	20	19	琉球大

男子	2部連決勝	興南BIC	25	1114	1212	24	HC FURIMUN	27	20	那覇西ク
女子	2部連決勝	宜野湾ガス	29	1415	712	19	レキオクラブ	20	19	琉球大

【マスターズ】
 3位決定戦
 天外天 20 16 青空
 決勝
 興南OB 17 11 106 16 糸濱B
 【マスターズ50's】
 決勝リーグ第2戦
 コザOB 16 13 チーム46
 同第3戦
 沖繩教員 16 15 チーム46
 同最終成績 ①沖繩教員2勝
 ②コザOB1勝1敗③チーム46 2敗

女子決勝 宜野湾ガスクラブ-レキオクラブ
後半、宜野湾ガスの當眞貴和子がディフェンスをかわしてシュートを決める=ANAアリーナ浦添 (下地広也撮影)

興南BIC 4連覇 堅守速攻から逆転



男子1部決勝は、興南BICがHC FURIMUNの終盤の猛攻をしのぎ、25-18で完勝した。序盤は、主将宮城護が「久しぶりの試合で感覚が戻っていなかった」と振り返るようにシュートが決まらず、リードを許す展開だった。後半はスタミナ切れし、16-14とでも「3-2-1」の布陣で高い位一時2点差に詰め寄せられた。だが、置からボールを奪いにいき、抜かれながらGK宮里泰生がシュートを足ではじき、周囲でのカバーを徹底。守備など好セーブを連発し、反撃をのりだした。宮里は「流れが悪い時にシュートを止められて良かった。九州でも守りでチームに貢献できるように頑張りたい」と意気込んだ。

男子決勝 興南BIC- HC FURIMUN
前半、シュートを決めるBICの浅野健仁



初優勝した宜野湾ガスクラブ



男子優勝の興南BIC

佐渡山

重量挙げ アジア選手権第2日
重量挙げのアジア選手権第2日は18日、ウズベキスタンのタシケントで行われ、佐渡山彩奈は105kg級で110kgを挙げ、銀メダルを獲得した。



佐渡山彩奈